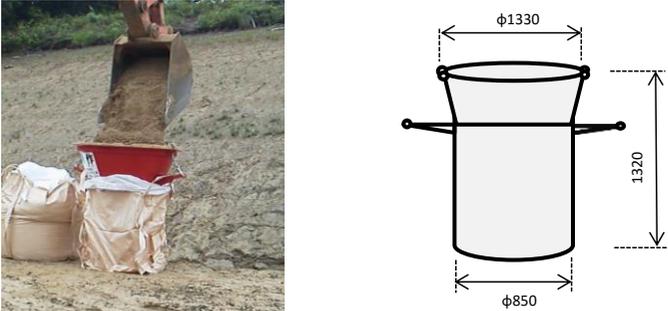
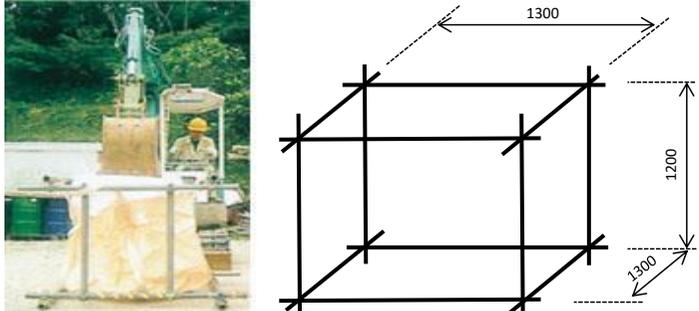


新技術、従来技術比較表

技術名：大型土のう製作器具「瞬作」

	新技術 大型土のう製作器具「瞬作」	従来技術 専用補助具を使用しない大型土のう製作
工法概要	大型土のう製作のための補助具であり、省人化、安全面も向上し、大量の大型土のうが効率的に製作可能である。	鋼管での枠組で、袋の取付が困難。また、土砂の投入時には袋がよじれたり土砂がこぼれる。さらに、土砂投入後に土のうを吊上げる際には、枠に引っかかり非効率である。
概略図		
経済性	779,820円(10.51%向上) 大型土のう300個の製作費用(製品購入費を含む)	871,364円 大型土のう300個の製作費用(鋼管枠組立含む)
評価	○	—
工程・工期	大型土のう製作300個/2日(58.68%短縮)	大型土のう製作300個/4.84日
評価	◎	—
品質	本体寸法・重量 φ1330(上部投入口)×φ850(下部)×H1320 160kg	鋼管で現場で独自に製作(例)1300×1300×H1200程度
評価	◎	—
出来形	誰でもほぼ均一な出来上がりとなる	作業員の熟練度に依存する
評価	○	—
現場条件	100m ² 以上のスペース(0.80m ³ バックホウ使用時)	100m ² 以上のスペース(0.80m ³ バックホウ使用時)
評価	△	—
設計条件	・製作個数、工期、施工ヤードを考慮し、本製品使用台数の検討 ・土のう袋はφ1100×H1100・1m ³ タイプに適応	・製作個数、工期、施設ヤードを考慮し、枠組製作台数の検討 ・土のう袋はφ1100×H1100・1m ³ タイプに適応
評価	△	—
安全性	専用に開発した商品なので、簡便な取付取外しと土のう設置までは重機から離れることができる	土砂投入の際袋がよじれたり、投入後袋を吊上げる際に枠に引っかかった時には、作業員の手作業が多くなり危険を伴う
評価	◎	—
NETIS番号		
備考		
総合評価	◎	—